

## IV まとめ

計画に掲げる指標の進捗状況をもとに評価分析を行い、今後の課題をまとめると、以下のとおりとなった。

### (1) 基本方針1「生活習慣病の発症予防と重症化予防」

COPDの認知度の向上及び喫煙率の減少に向けた取組を強化するとともに、高血圧、脂質異常症、糖尿病有病者の増加の抑制に向けた取組をより一層推進していく必要がある。

また、引き続き特定健康診査やがん検診受診率向上への取組が必要である。

### (2) 基本方針2「ライフステージに応じた健康づくり」

次世代においては、子どもの頃からの望ましい生活習慣（栄養・運動）が身につくよう食育推進計画等と連動した取組や妊娠中の飲酒・喫煙防止のための取組、働く世代においては、「適切な量と質の食事をとる者の増加」、「運動習慣者の割合の増加」、「睡眠による休養が十分にとれていない者の割合の減少」等において地域保健と職域保健が連携した取組、高齢世代においては「低栄養傾向の高齢者の増加の抑制」、「日常生活における歩数の増加」等を中心とした取組を推進していく必要がある。

### (3) 基本方針3「健康を支え守るための社会環境整備」

地域において市民が主体的に健康づくりをはじめとした様々な地域活動に取り組めるよう、より一層支援していく必要がある。

また、健康づくりに関心がない者や時間的・精神的にゆとりのある生活を確保することが困難な者の健康増進につながるよう、「元気じゃけんひろしま 21 協賛店・団体」の取組を強化するとともに、健康への悪影響が明確な受動喫煙を防止するための取組を推進していく必要がある。

また、上記3つの基本方針を実現するための「栄養・食生活」、「身体活動・運動」、「休養・メンタルヘルス」、「喫煙」、「飲酒」、「歯と口の健康」の生活習慣等に関わる6つの分野についての取組状況を評価した。

目標を達成した指標が最も多かった「歯と口の健康」については、引き続き歯科健康診査の受診率向上等に取り組む必要がある。

変わらない及び悪化した指標が多かった「栄養・食生活」、「身体活動・運動」については、関係団体・機関等と連携を図りながら、食環境整備を含めた食生活支援、身体活動や運動に取り組みやすい環境づくりなどの取組をより一層推進するとともに、「休養・メンタルヘルス」では職場におけるメンタルヘルス対策を、「喫煙」では禁煙支援に向けた取組を、「飲酒」では適正飲酒につながる取組を推進していく必要がある。

中間評価において、男女ともに平均寿命・健康寿命は策定時より延伸しているものの、女性の健康寿命の伸びは平均寿命の伸びを下回っていた。

また、各基本方針において目標に達した指標が2割弱あるものの、不変または悪化が7割を占めていたことを踏まえ、計画の基本目標である「健康寿命の延伸」を図るためには、引き続き、市民一人一人が、乳幼児期から高齢期まで生涯を通じて健康づくりに取り組むとともに、元気じゃけんひろしま 21(第2次)推進会議の構成団体・機関等と連携し、総合的かつ計画的に健康づくりに関する施策をより一層推進する必要がある。